

倭文庫

十七編



錦
堂
印

^ 13
3836
7

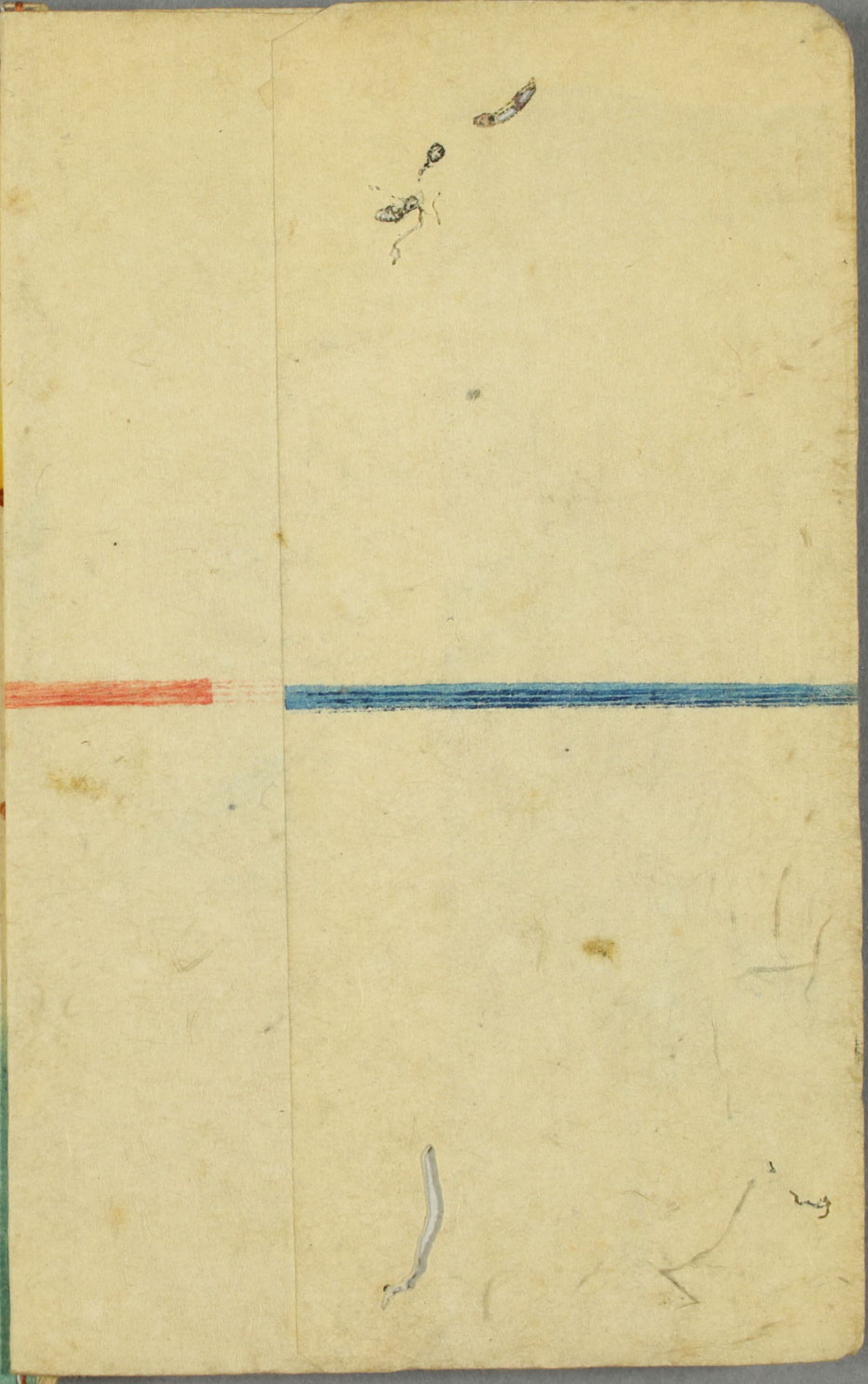


倭文庫十七編



万亭應賀作

上



一陽齋豊國畫

錦重堂
寿櫻

金次郎

倭文庫

十七編

上冊



庚戌
春
茂市

釋迦八相倭文庫十七編序

嘉永三年庚戌
 孟春發
 市
 江戶一
 流戲作
 元祖
 万亭
 應賀
 誌

倭文庫
 十七編
 應賀
 萬亭
 志

嘉永三年庚戌
 孟春發
 市
 江戶一
 流戲作
 元祖
 万亭
 應賀
 誌





其の
 弟十の
 可難尊者
 甘露飯王の弟
 白飯王の御子
 可難太子
 其一
 阿難尊者

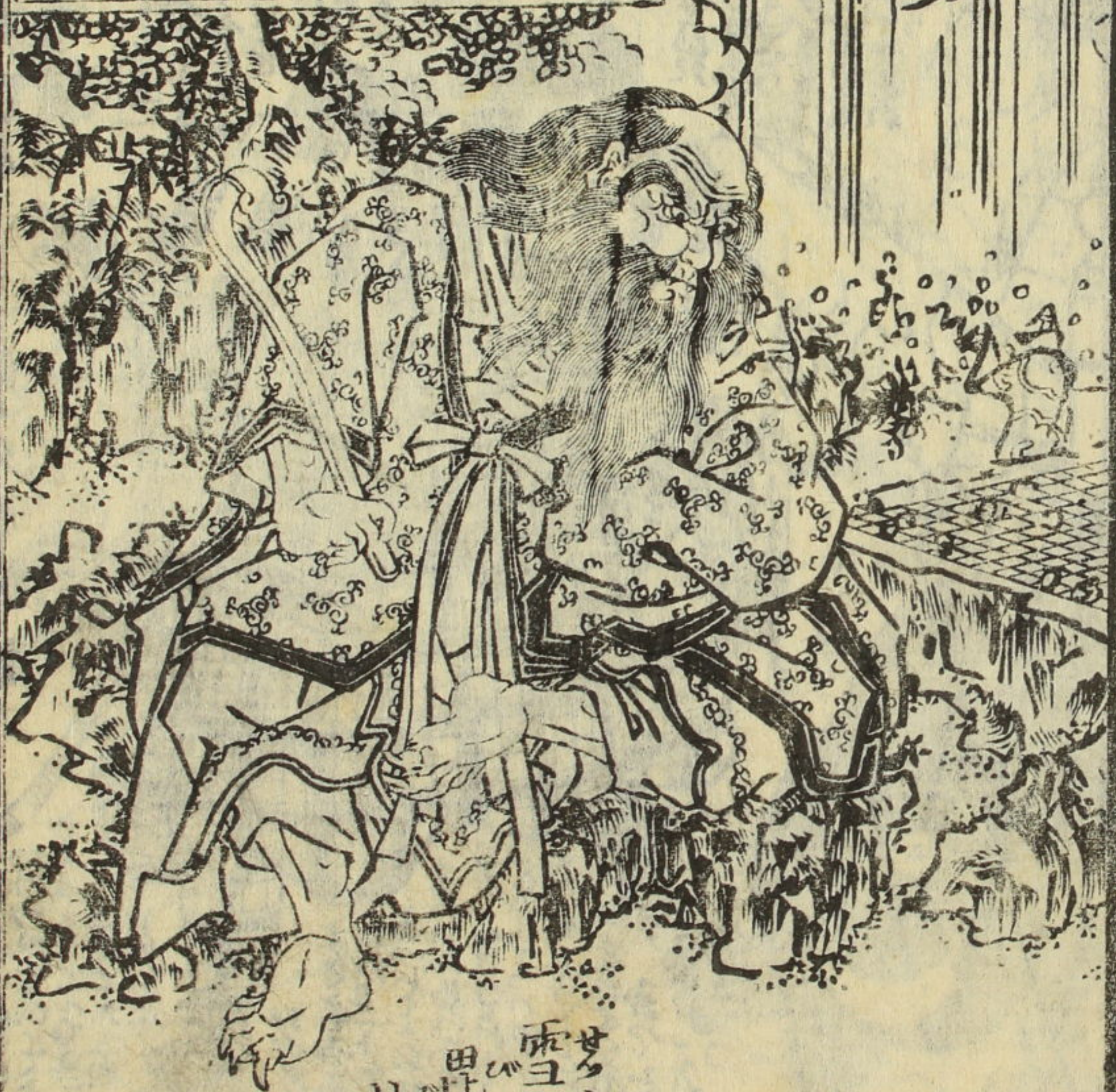
瞿陀の
 局の
 女中



悉達太子の更衣
 瞿陀弥女の方
 帝淨飯大王の弟
 甘露飯王の
 御子
 阿難太子
 弟十の
 弟子の

阿難尊者
 甘露飯王の御子
 白飯王の御子
 可難太子
 其の弟十の
 可難尊者
 悉達太子の更衣
 瞿陀弥女の方

魔界長阿修羅
 羅王雪山の毘羅
 林九志と金剛法
 石の持て座隠
 企つ及悉連太
 子の照普比丘阿
 修羅王(熊の
 肉と捧る圖

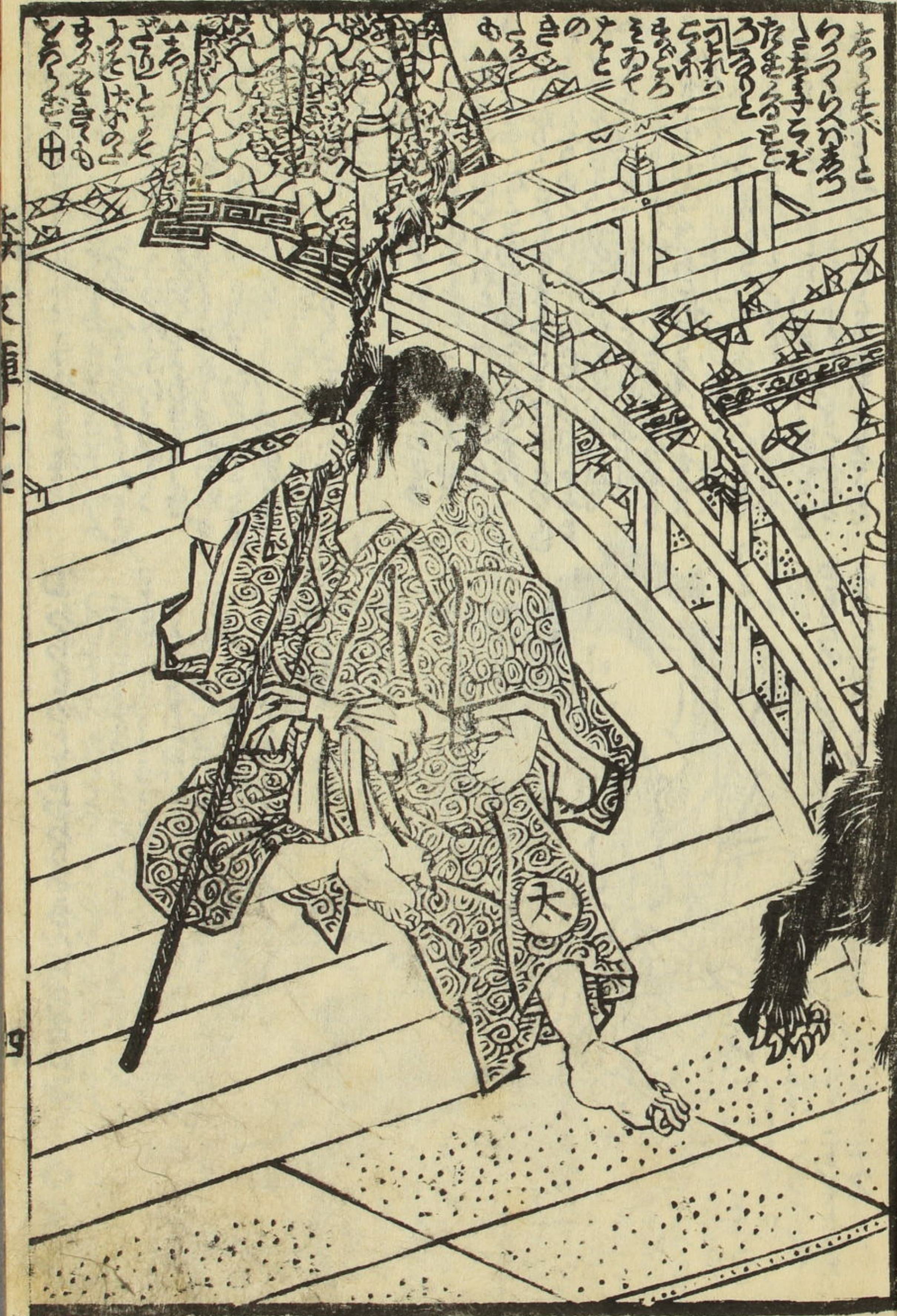


雪山の
 毘羅
 林九志
 仙士

文庫十七



文庫十七





仙傳

五



仙傳文庫 十世
此の山は...
正仙...
世に...

白水...
非の...
白水...
白水...
白水...



白水...
白水...
白水...
白水...
白水...

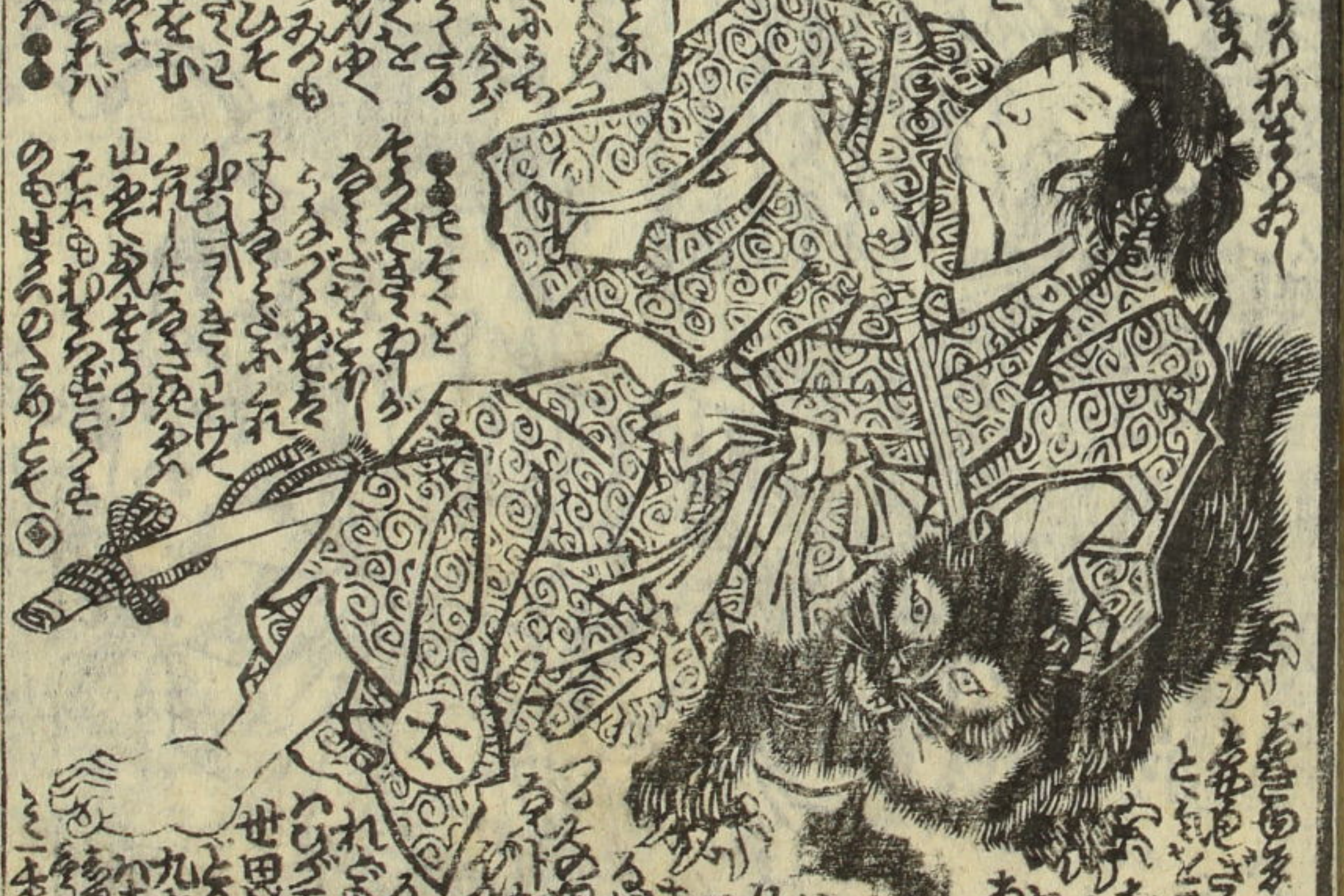
白水...
白水...
白水...
白水...
白水...

ついでに入りのあまのついでに...
これこそが...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...



あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...

あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...



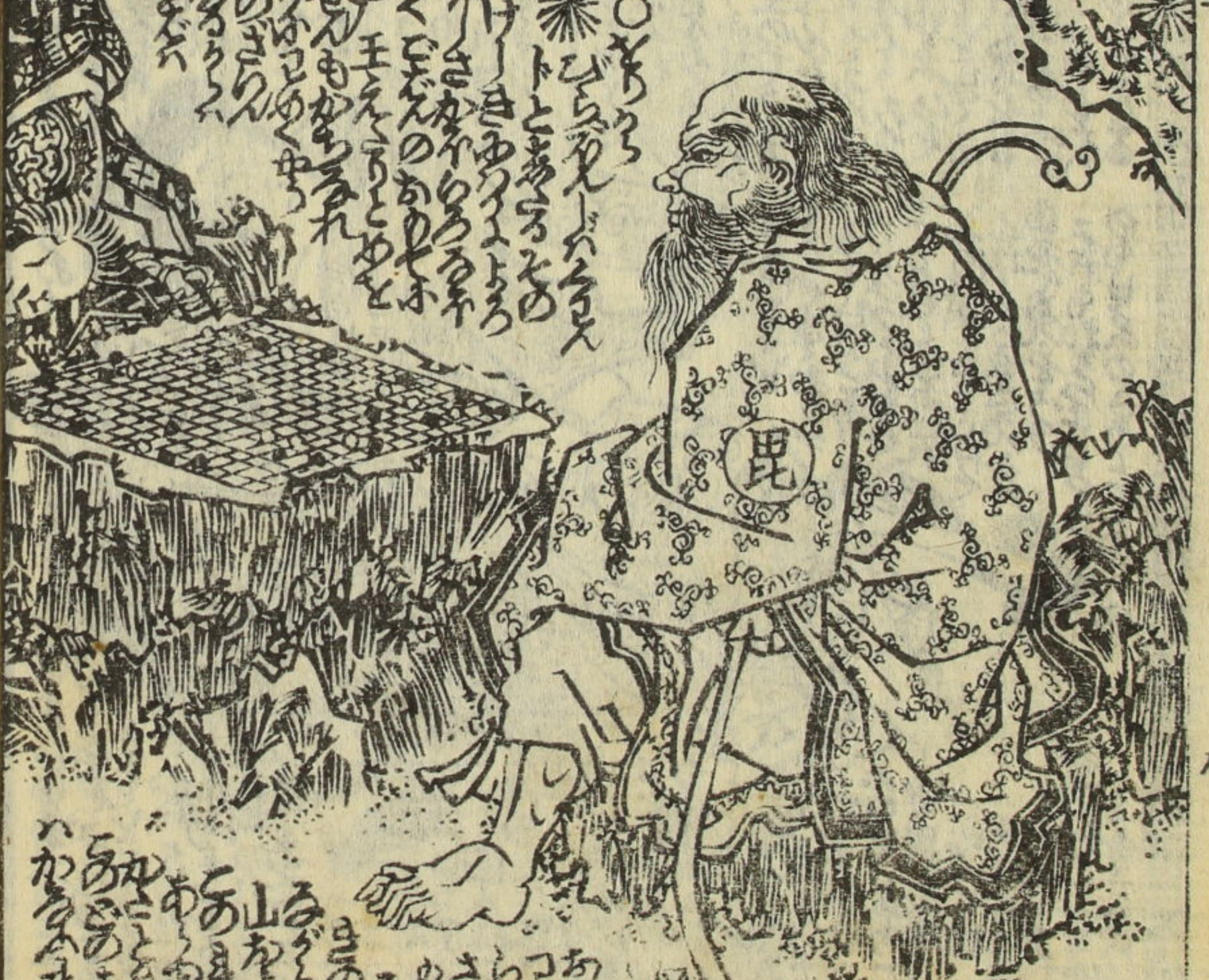
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...
あまのついでに...

丙午 九月十日
 行 砲 射 馬
 丙午 九月十日
 行 砲 射 馬



丙午 九月十日
 行 砲 射 馬
 丙午 九月十日
 行 砲 射 馬

丙午 九月十日
 行 砲 射 馬
 丙午 九月十日
 行 砲 射 馬



丙午 九月十日
 行 砲 射 馬
 丙午 九月十日
 行 砲 射 馬

應賀作

豊國画



ついでにさるやとふ上王の長江
 ありあけの王をたふめとあて
 大畏のけんぞくあれはあま
 ちのけしとんの利ふはあま
 神力自在はあまの法器
 まうまう如きあまのま
 このまうまうたまのま
 ぐくくくくくくくくくく
 ちのまうまうまうまう
 ちのまうまうまうまう

◆されがらまも世の中
 人のあまのまをま
 あまのまのまのま
 まのまのまのま
 たまのまのま

奥奉公 二編娘一代成人 双六 万亭 應賀作
 陽齋 豊國画

倭文庫太子 双六 万亭 應賀作
 陽齋 豊國画

武藝立身館 双六 万亭 應賀作
 陽齋 豊國画

奥奉公出世 双六 万亭 應賀作
 陽齋 豊國画

將基 双六 万亭 應賀作
 陽齋 豊國画

金地本錦繪團扇所
 元大坂町代地角
 上州屋重藏版

一陽齋豊国画

嘉永三年
庚戌春
新刊



上列屋版

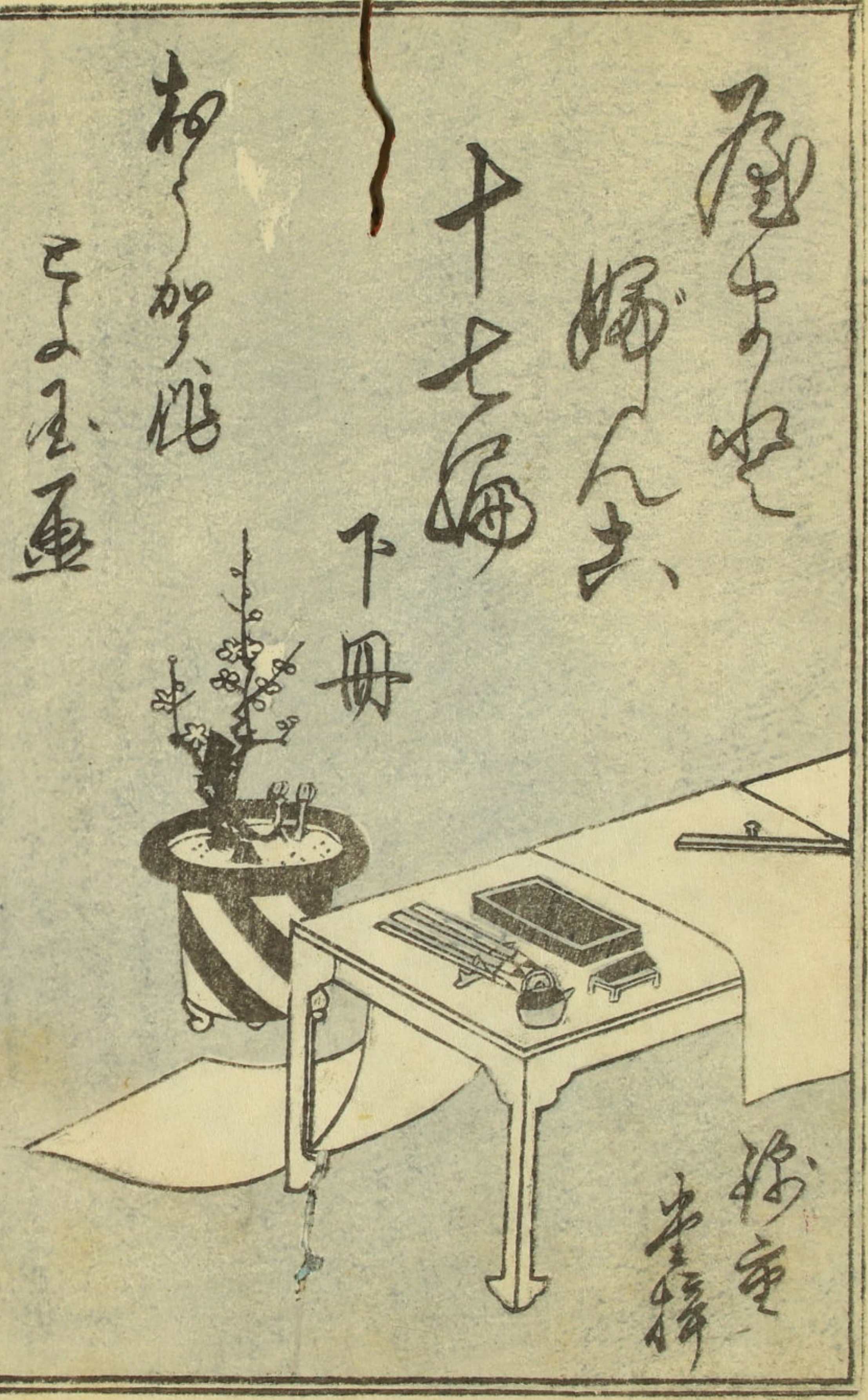


下の子... (Main body of text in the left page)

永女文庫廿七



あつたの... (Text at the bottom of the left page)



静庵 中書



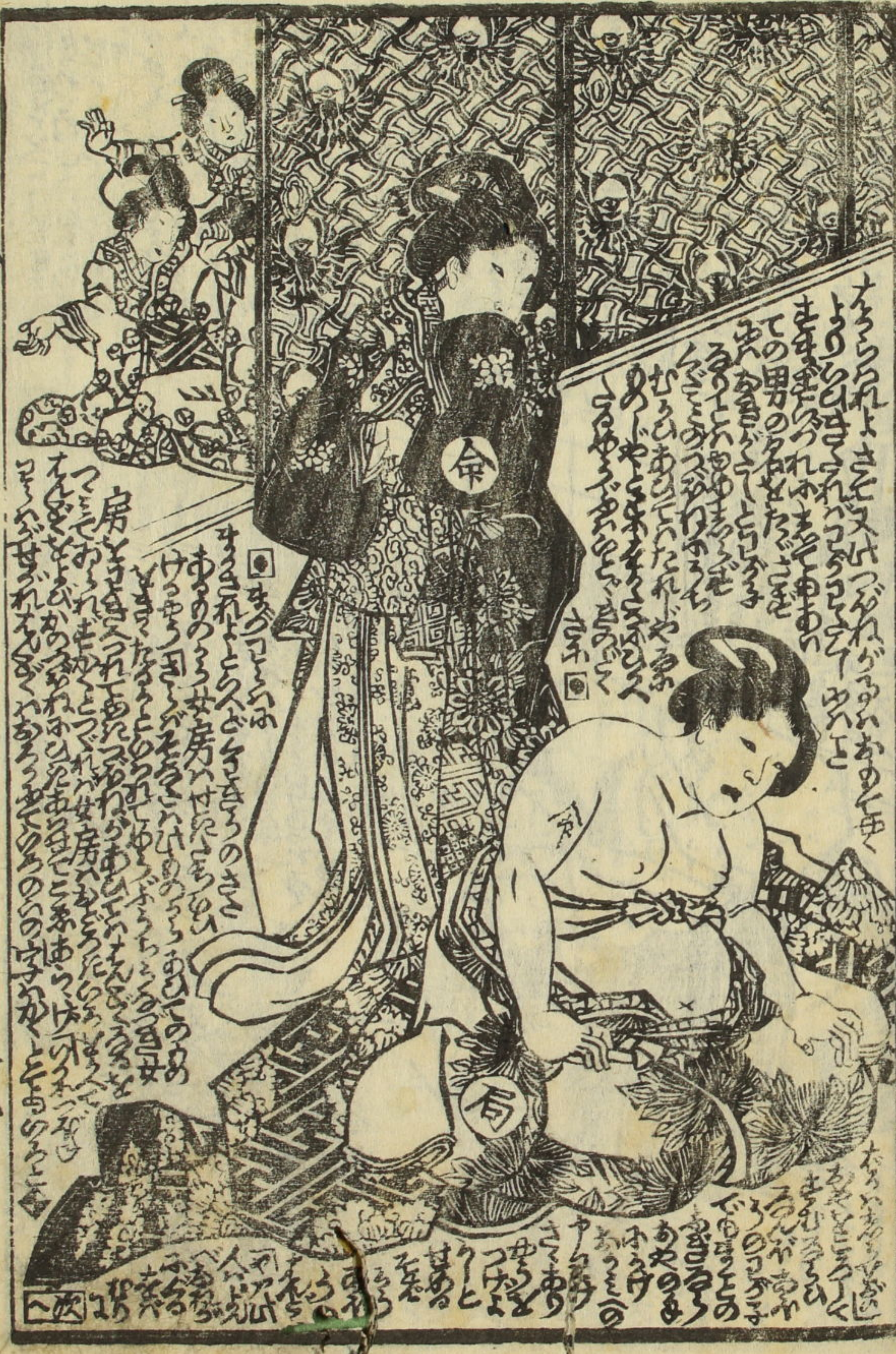
女文庫廿六

二



女文庫廿七

二



女房の御用

十一

命 局



女房の御用

十二

命 局



右の女は...
左の女は...
中央の女は...
立ち上りの女は...
持てる杖は...

この物語は...
昔の事だ...
女たちの...
生活の...
苦しみ...
喜び...
あつた...

この物語は...
昔の事だ...
女たちの...
生活の...
苦しみ...
喜び...
あつた...



この物語は...
昔の事だ...
女たちの...
生活の...
苦しみ...
喜び...
あつた...

この物語は...
昔の事だ...
女たちの...
生活の...
苦しみ...
喜び...
あつた...

萬亭應賀作 陽齋豐國画

此畫は、萬亭應賀の作にして、陽齋豐國の画也。其の意、...



此畫の意、...

錦重堂新繪草紙目錄

釋 相 倭 文 庫 十編 十一編 十二編 萬亭應賀作 陽齋豐國画

忠 義 赤 松 譚 四編 五編 六編 七編 如 淵 外 史 作 陽 齋 豐 國 画

神 代 藻 塩 草 二 編 萬 亭 應 賀 作 陽 齋 豐 國 画

紫 菜 淺 草 土 産 五 編 十 返 舎 一 九 作 陽 齋 豐 國 画

日 蓮 記 旭 衣 二 編 萬 亭 應 賀 作 陽 齋 豐 國 画

重 繪 草 紙 錦 繪 本 類 元 大 坂 町 代 地 角 上 州 屋 重 藏 版

万亭應賀作



倭文庫拾八編

上



明へ13
號 3836
卷 7

慶應義塾

万亭

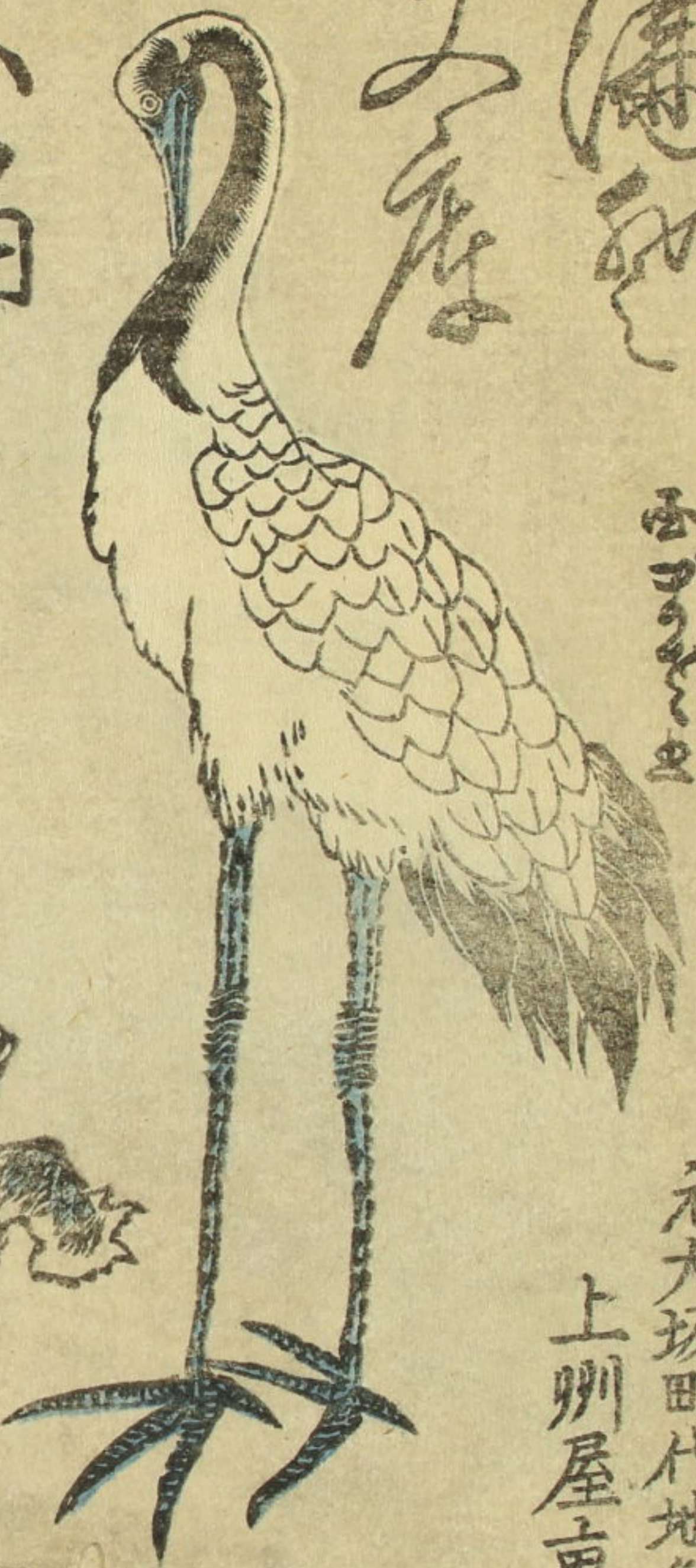
拾八編

上の巻

万亭應賀作
一陽齋豊國画

嘉永四年

辛亥春新刊



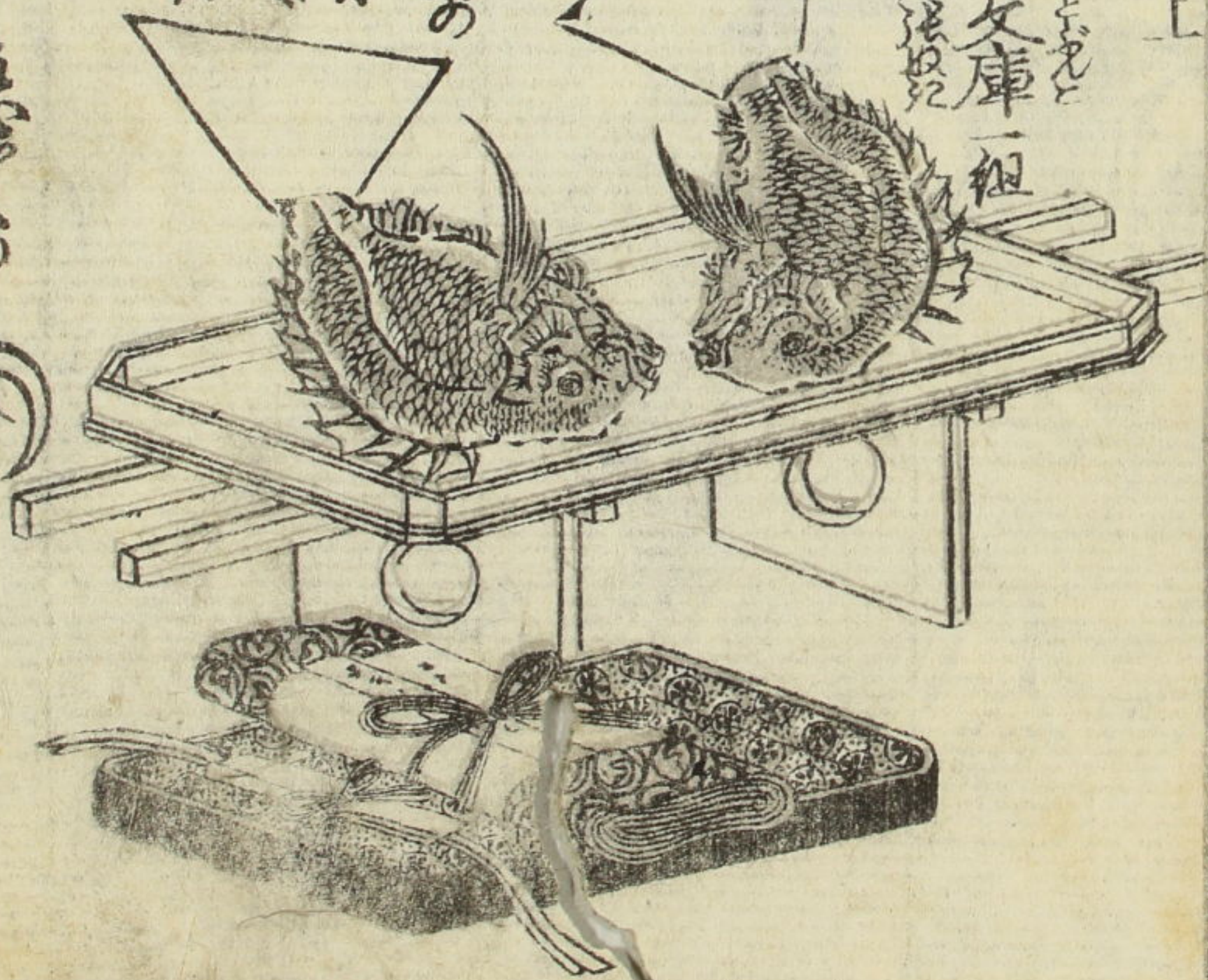
元大坂町代地角
上洲屋重藏板

釋迦八相傳文庫拾八編の口上

目録
一 釈迦八相傳文庫拾八編の口上
二 釈迦八相傳文庫拾八編の目録
三 釈迦八相傳文庫拾八編の巻頭
四 釈迦八相傳文庫拾八編の巻末

此の書は、釈迦八相傳文庫拾八編の口上、目録、巻頭、巻末の四巻を収めたものである。其の口上は、釈迦八相傳文庫拾八編の口上、目録、巻頭、巻末の四巻を収めたものである。其の目録は、釈迦八相傳文庫拾八編の口上、目録、巻頭、巻末の四巻を収めたものである。其の巻頭は、釈迦八相傳文庫拾八編の口上、目録、巻頭、巻末の四巻を収めたものである。其の巻末は、釈迦八相傳文庫拾八編の口上、目録、巻頭、巻末の四巻を収めたものである。

正清書目 一陽齋作の元祖
万亭應賀作



發效華什



伽羅之仙

天童子

悉達太子
照普比丘
妙舍利仙
名改
金剛法石
三三三
行

天童子

名





耶輪陀羅女
の局女中



耶輪陀羅女
御所へ歸りて悪
者の樂書の由の多し
局女中と猪共の
無實の罪の落ち
多し不眠責め
小逢ふ



春二月八日
 庚寅の日はあつひよひそく王宮
 のかへるあつひよひそく王宮

春二月八日
 庚寅の日はあつひよひそく王宮
 のかへるあつひよひそく王宮



春二月八日
 庚寅の日はあつひよひそく王宮
 のかへるあつひよひそく王宮

春二月八日
 庚寅の日はあつひよひそく王宮
 のかへるあつひよひそく王宮



作風十

水

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

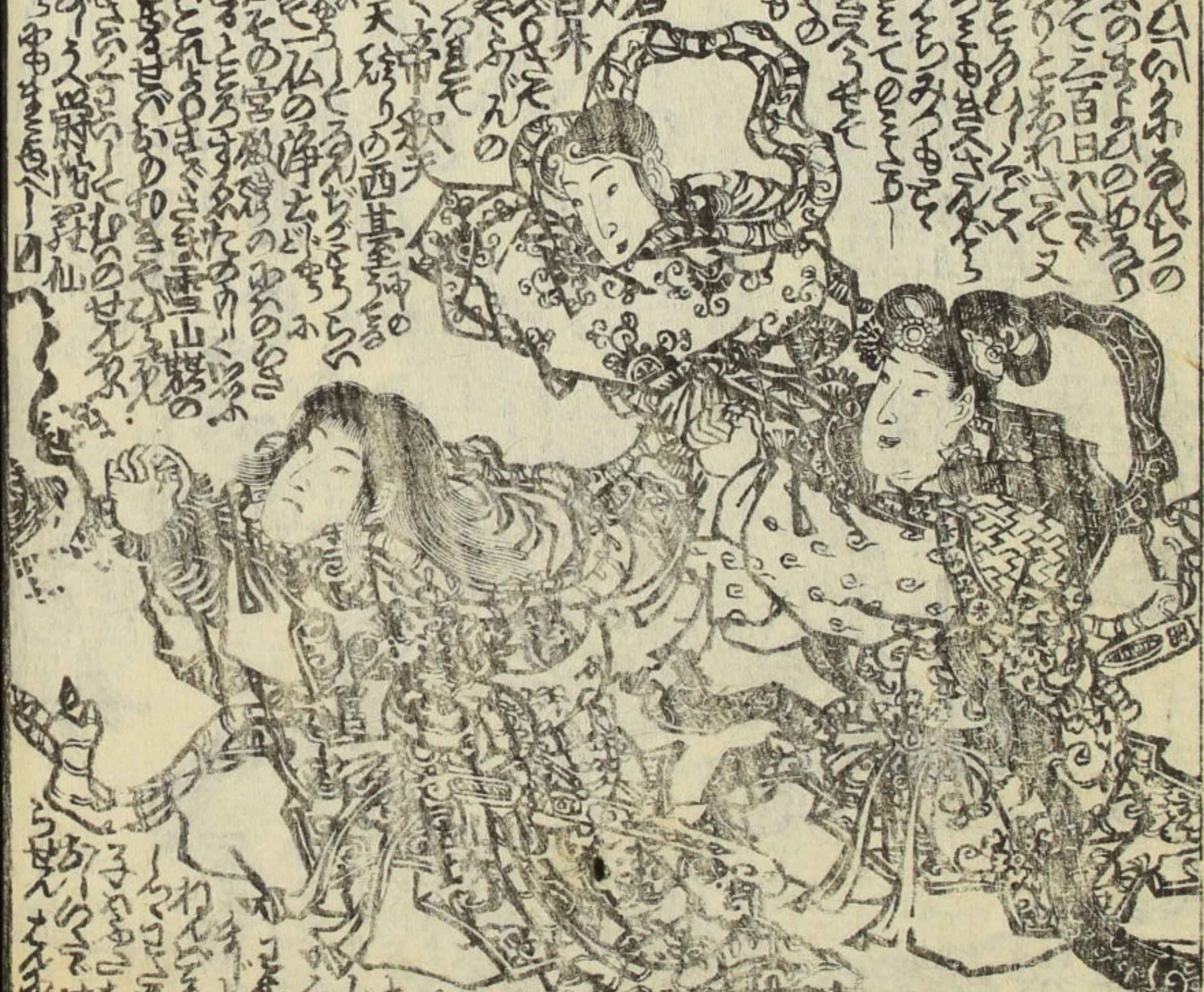
おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...



おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

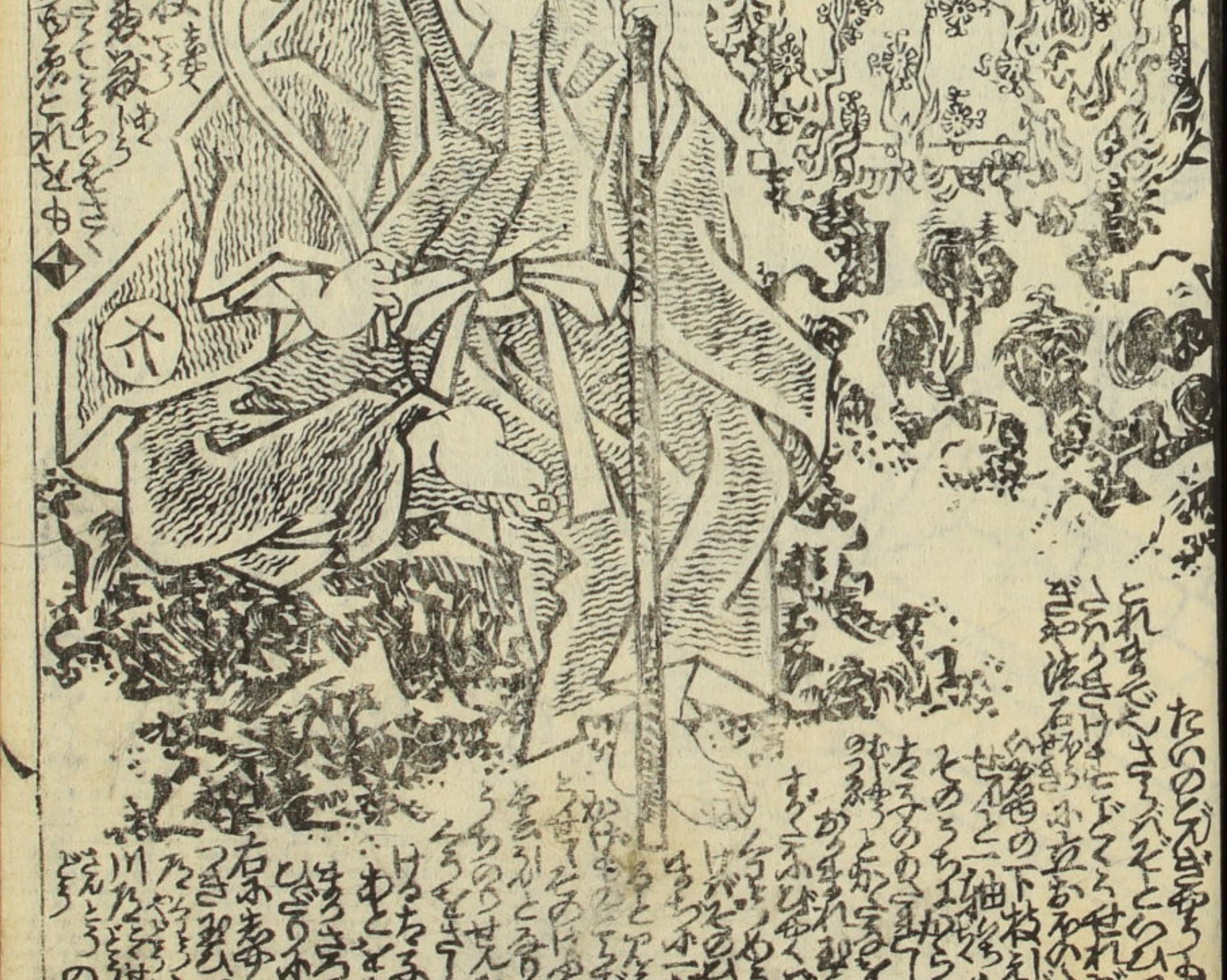
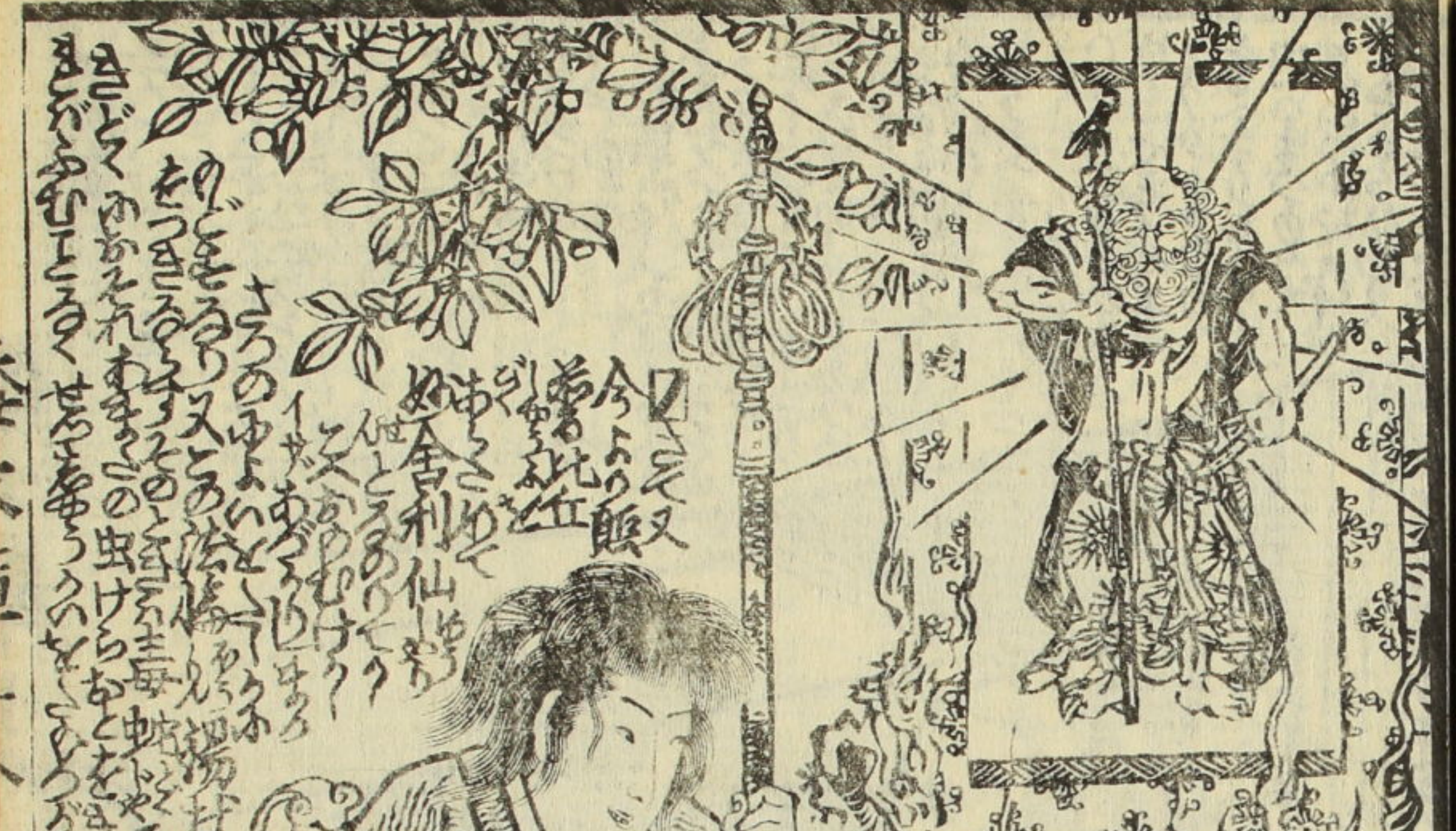
おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...

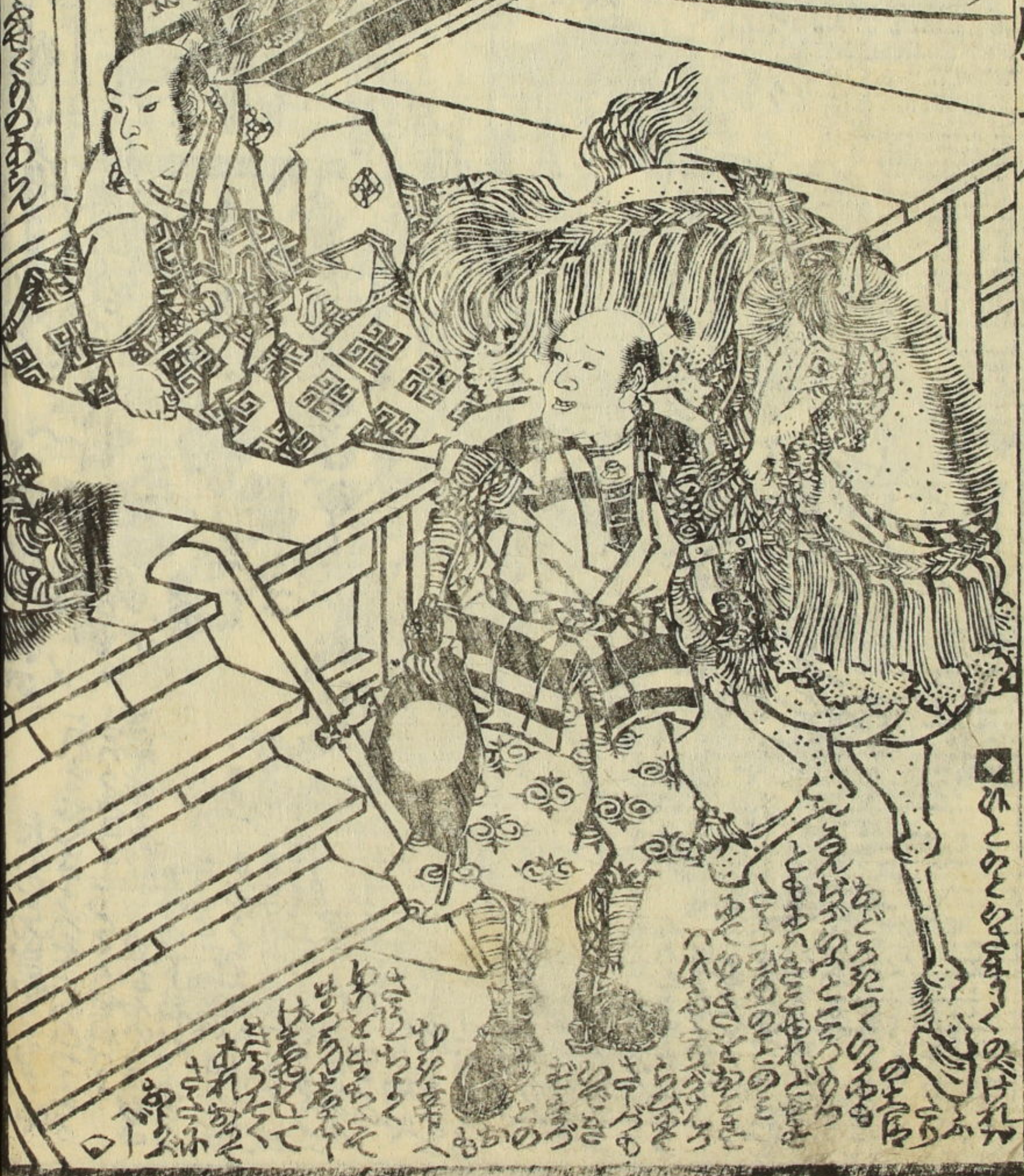
おのれのあかしのついでに...

おのれのあかしのついでに...



おのれのあかしのついでに...

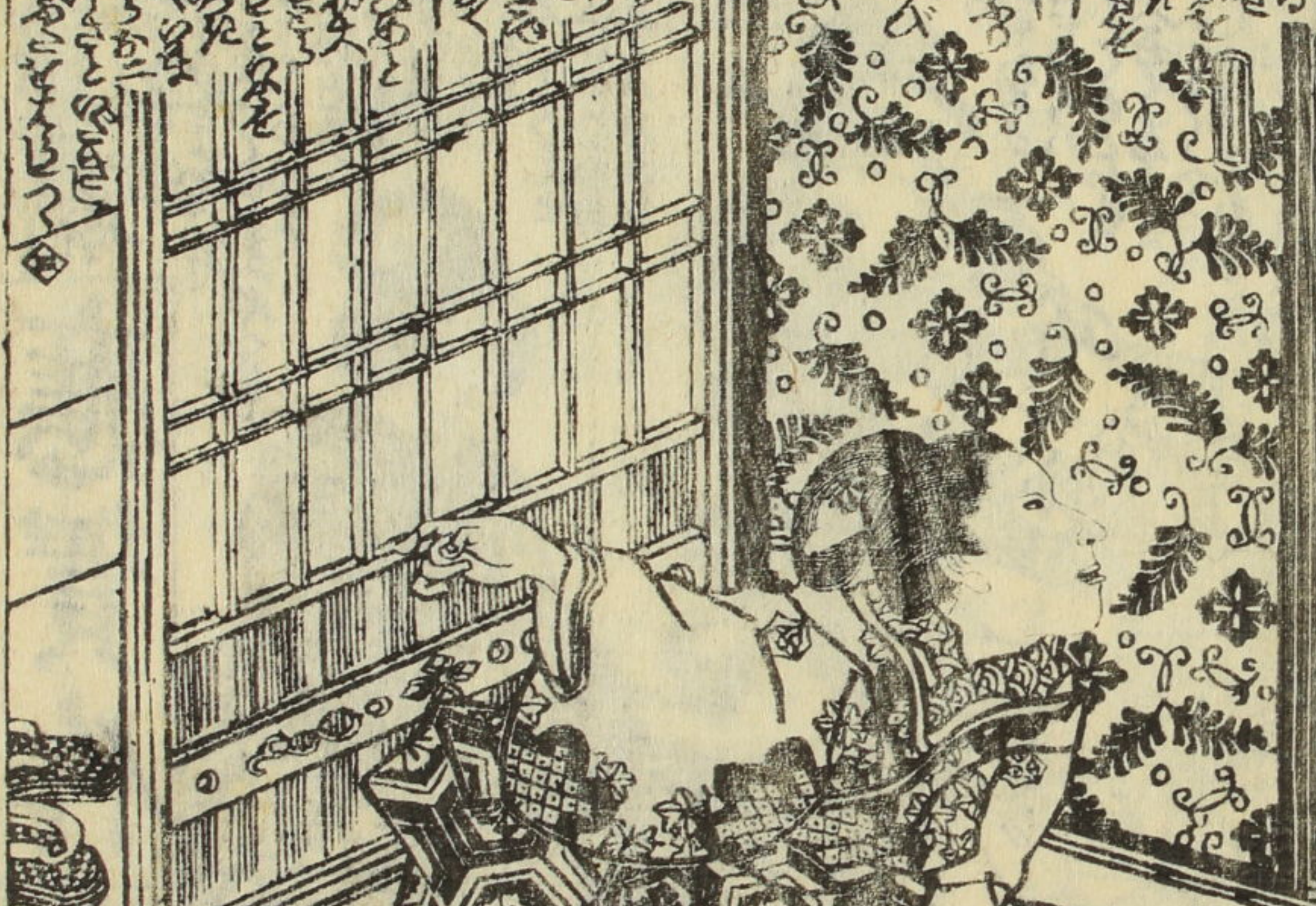
八幡を祀る事とて、山崎の
 八幡宮に於て、八幡神の
 御前より、お目見せ給は
 りし事、これより、お目見
 せ給はらぬ事、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 内務省の御前より、お目見
 せ給はらぬ事、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 右の御前より、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 左の御前より、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事



八幡を祀る事とて、山崎の
 八幡宮に於て、八幡神の
 御前より、お目見せ給は
 りし事、これより、お目見
 せ給はらぬ事、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 内務省の御前より、お目見
 せ給はらぬ事、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 右の御前より、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事
 左の御前より、お目見せ給
 はらぬ事、お目見せ給はら
 ぬ事、お目見せ給はらぬ事

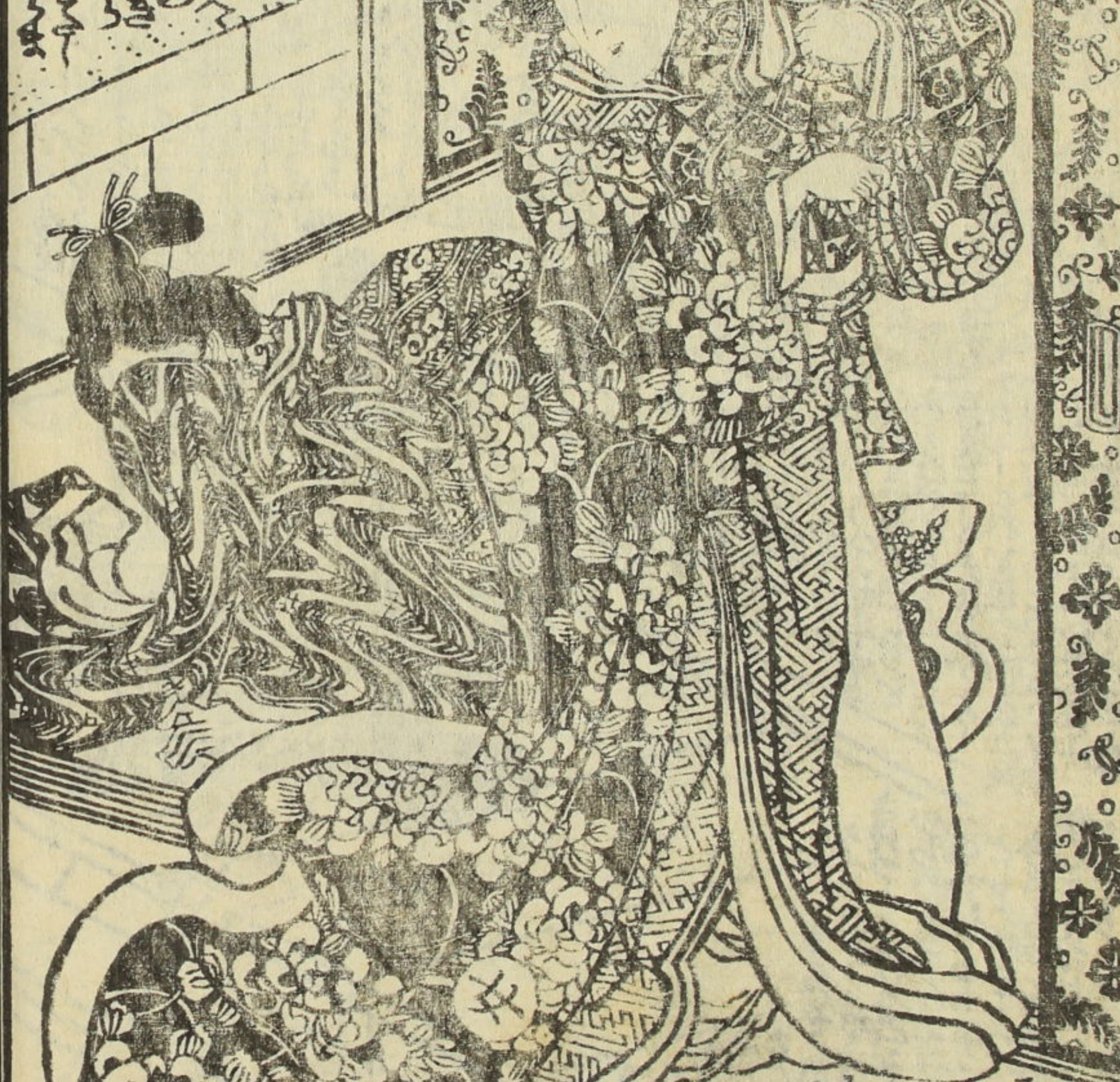


Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the left page, including the characters 'とら' and 'とら'.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page.

嘉永四年辛亥新春新板目錄

日蓮記旭衣二編	神代藻塩草二編	奧奉公出世双六	武藝立身館双六	倭文庫太子双六	二編娘一代成人双六	奧奉公
一勇齋國芳画	一陽齋豊國画	一陽齋豊國画	一陽齋豊國画	一陽齋豊國画	一陽齋豊國画	一陽齋豊國画

應賀作豊國画



一陽齋豊国画



嘉永四年
辛亥春
新梓

上州屋版

下





倭文庫下

倭文庫
 十八海
 平江巻
 應賀巻
 壹國画



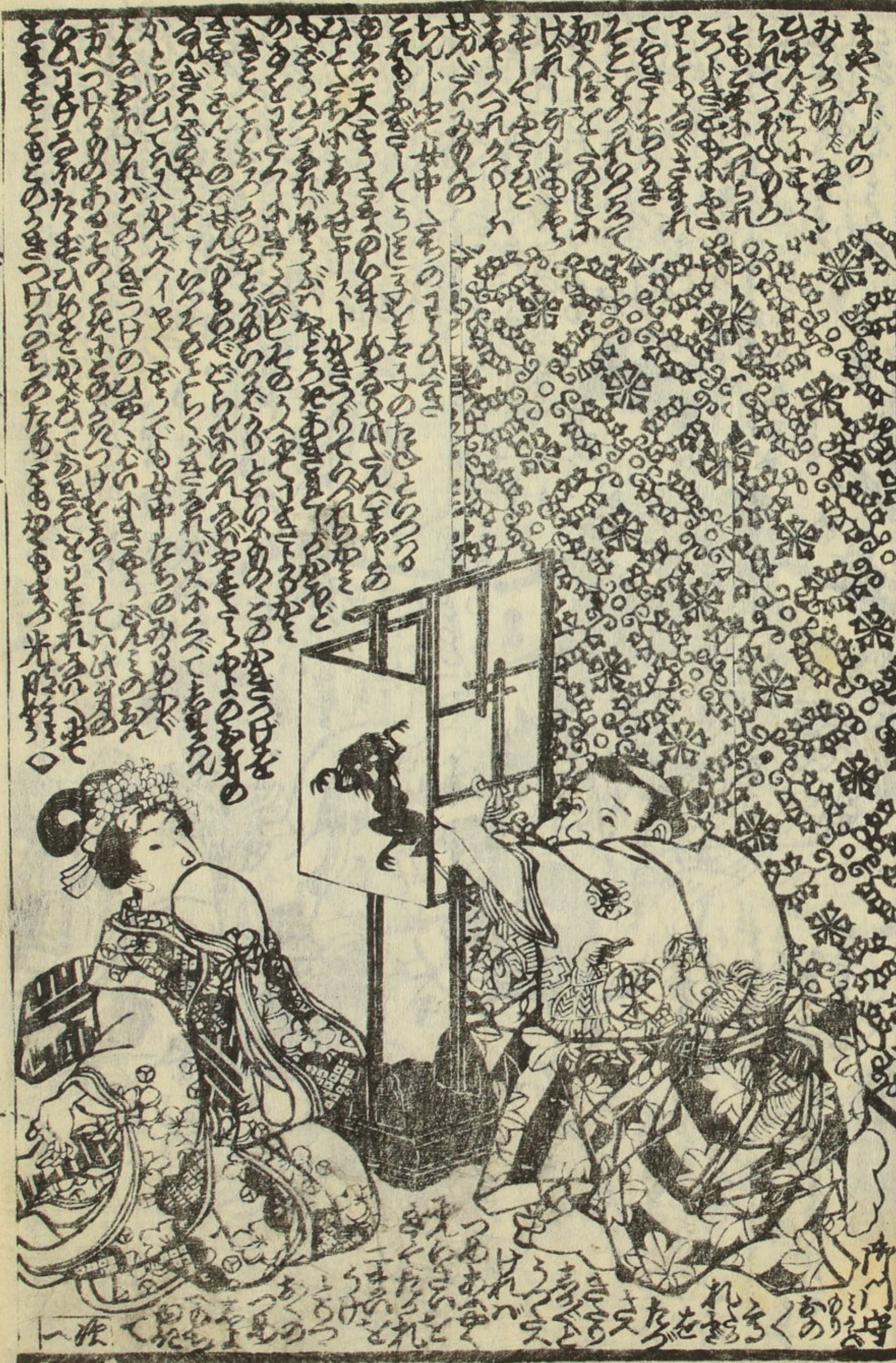
安の巻
 新彫

板巻



Handwritten Japanese text in the upper right section of the page, surrounding the illustration.

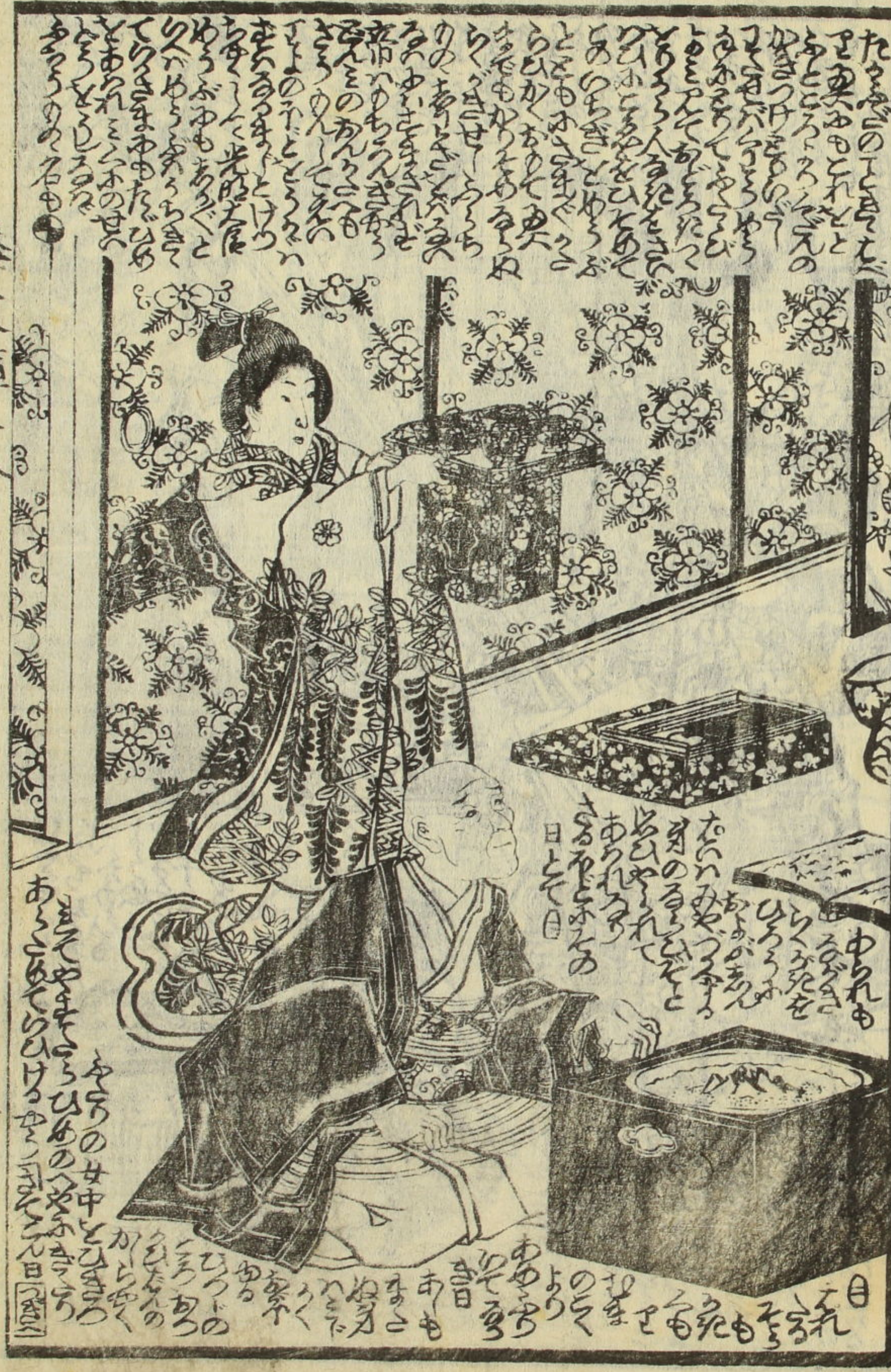
Handwritten Japanese text in the lower right section of the page, below the illustration.



Handwritten Japanese text in the upper left section of the page, surrounding the illustration.

Handwritten Japanese text in the lower left section of the page, below the illustration.

Vertical text on the left edge of the page, possibly a page number or title.



たかしのこゝろ

あつち



此の世に...
 此の世に...
 此の世に...

此の世に...
 此の世に...
 此の世に...

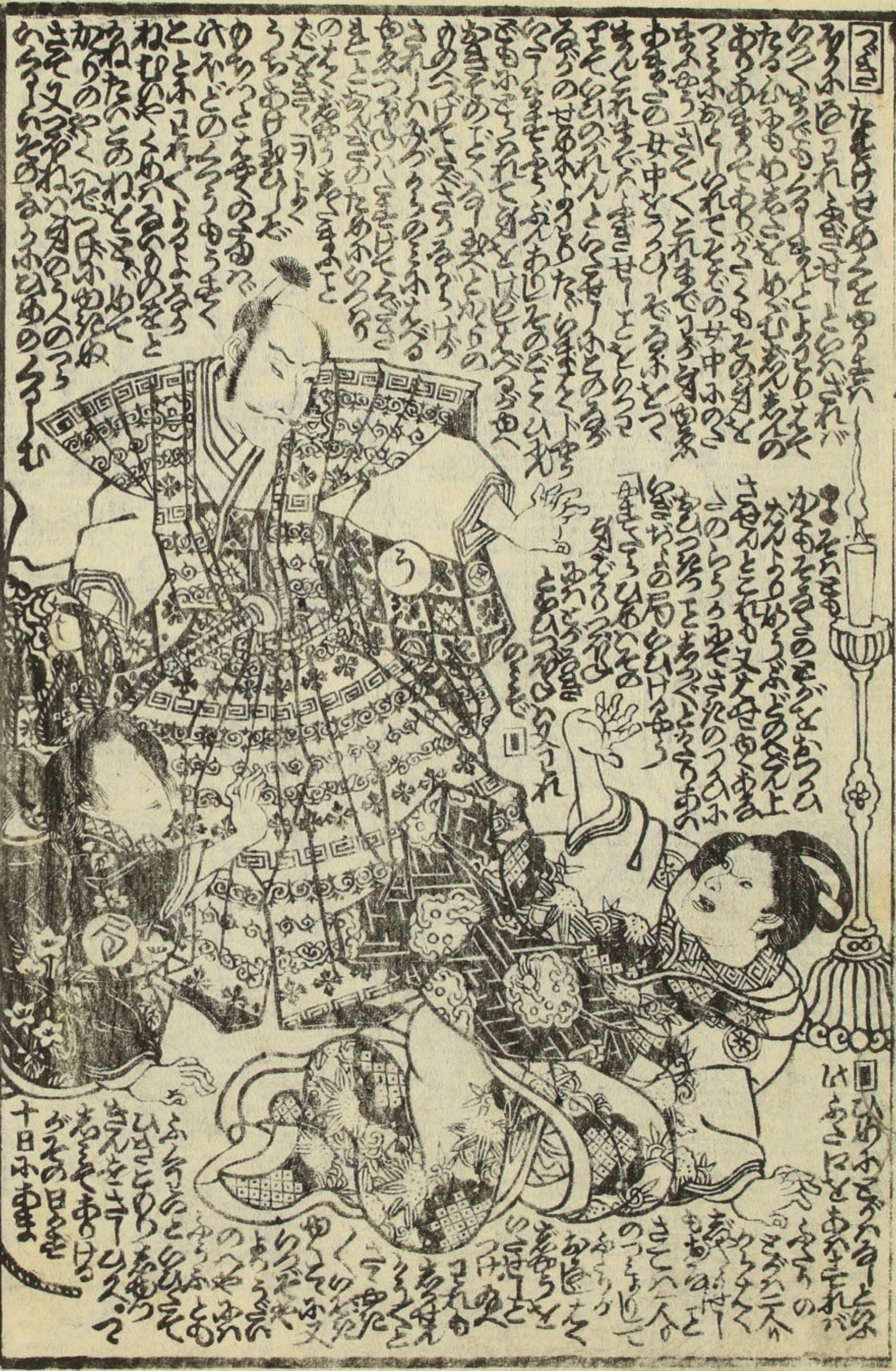


此の世に...
 此の世に...
 此の世に...

此の世に...
 此の世に...
 此の世に...

此の世に...

此の世に...



あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...

あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...

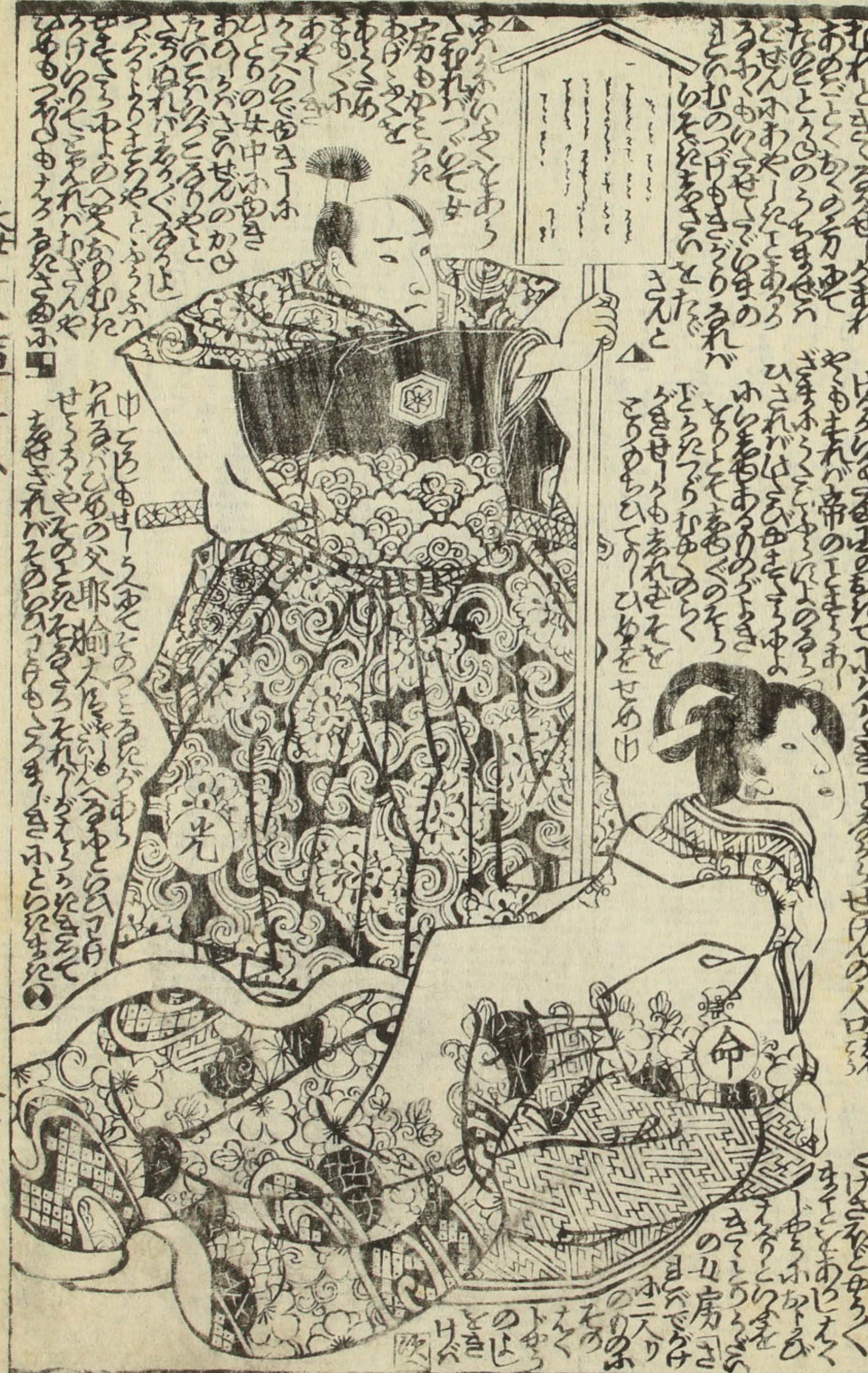
あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...



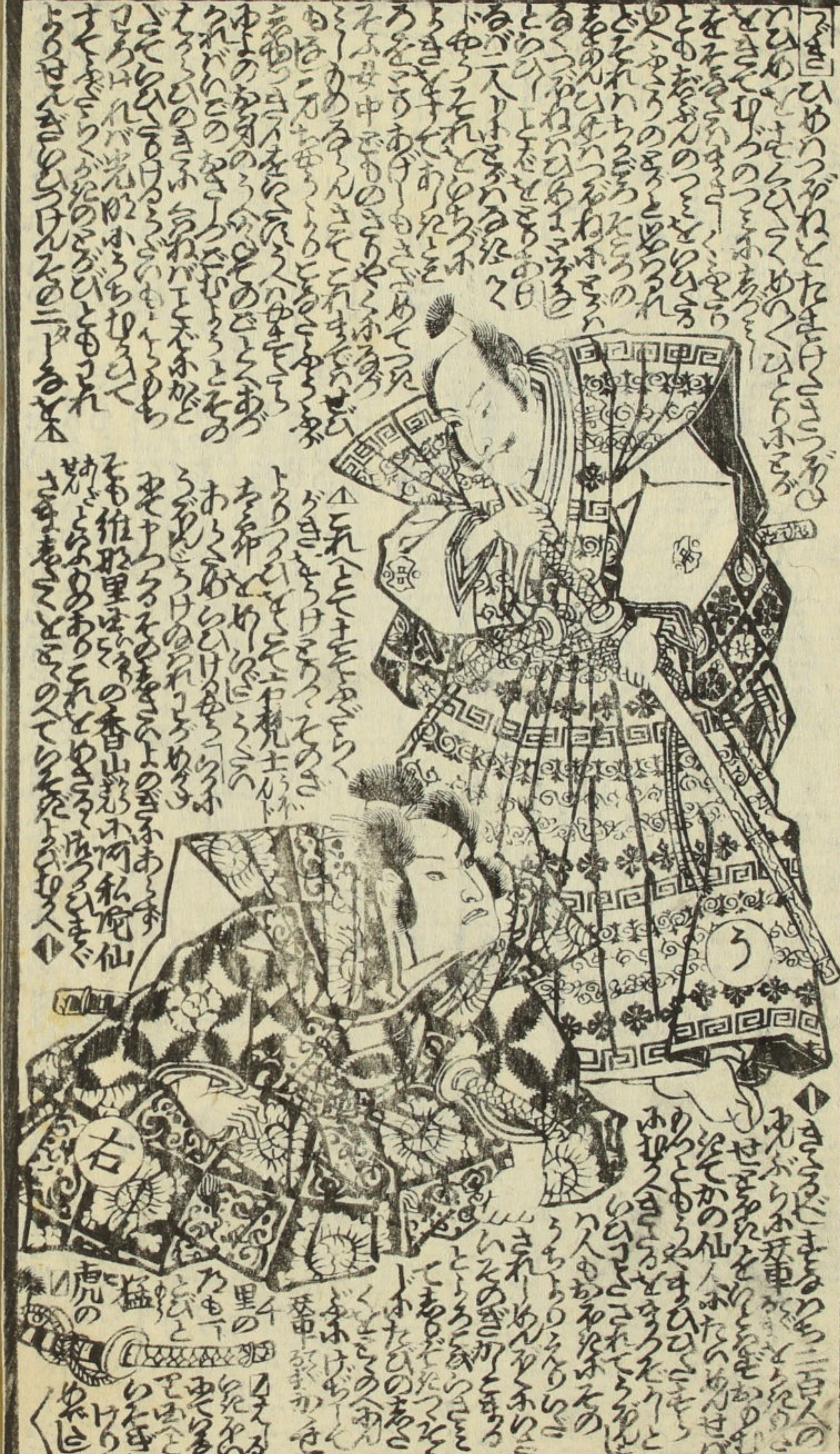
あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...

あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...

あつちんは... 何れか... 香山... 仙... 何れか... 香山... 仙...



万亭應賀作の陽齋豊国画



錦重堂新板繪草紙目錄

釋迦八相倭文庫 大編 九編 万亭 應賀作 廿編 廿編 一陽齋豊国画

奥奉公出世繪合 應賀作 奥の奥向の邊りや末より老女並格を以てあつた。今年の新版を以てあつた。おひらき紙の紙の包紙は

倭文庫太子雙六 應賀作 奥の奥の邊りや末より老女並格を以てあつた。今年の新版を以てあつた。おひらき紙の紙の包紙は

忠義教誡赤松譚 六編 七編 如淵外史作 一陽齋豊国画

京都のやうぐんすのり久のときや赤松のときや一家のをりや

重繪草紙錦繪本類 元大坂町代地前 上州屋重藏版



万葉和歌集

一陽鳥夢圖

万葉和歌集

一陽鳥夢圖

十六編

錦車堂板

